

2017年
7月 No.220

やさしい街



特集

「さっぽろ市民福祉活動計画」の策定にあたって

特集

「さっぽろ市民福祉活動計画」の策定にあたって

岡田 直人 氏 北星学園大学社会福祉学部福祉計画学科長 教授 第5次さっぽろ市民福祉活動計画策定委員会 委員長

■「さっぽろ市民福祉活動計画」とは

「さっぽろ」でお住まいの地域で繰り広げられている「市民」のための「福祉活動」に、「市民」みずから主体的に参画し、住み慣れた地域で、日ごろの生活に多少の不自由が生じても、「福祉活動」による支援を利用しながら住み続けるための総合的な「計画」です。

いわば、それぞれの地域で行われる「福祉活動」を「市民」が利用する立場でもあり、「市民」が提供する立場ともなる取り組みの「計画」です。

「市民」が主人公で主体となる「計画」ですが、これまで通り、地域で展開されている福祉等専門職・機関による支援と密接に連携して行われるものです。

「さっぽろ市民福祉活動計画」は住民代表を含む組織で札幌市社会福祉協議会が作りますが、札幌市が作る「札幌市地域福祉社会計画」と整合性をもったものです。現在、平成30年度から平成35年度までの6年計画を、札幌市と歩調を合わせて作っています。



▲岡田直人 教授

■地域社会をとりまく動向

私たちが暮らす地域社会には、例えば、高齢の方であれば介護保険サービスを利用しながら自宅での暮らしを継続できている人がたくさんいます。

一方で、そういった支援をいっさい受けることなく、誰からも気にかけてもらえなくなった方もいます。また、外からは一見わからないゴミ屋敷や、若年者のひきこもり、朝食を満足に食べないで学校に通う子どもの存在など、ニュース等では見たことがあっても、自分の近所にもあることを、あまり気付かないものです。

仮に気付いても、積極的に関わりをもつことは難しいものです。行政や福祉の専門機関に相談しても、対応できる制度や部署がなかったり、ひとつの世帯に、高齢、障がい、子ども、貧困といくつもの課題をもった事例も少なくありません。

そのため、これまでの縦割りの仕組みでは、適切に対応することができなくなっています。

■制度の変化による地域の福祉活動の方向性について

声なき貧困「サイレント・プア」の存在が全国で報告されるようになり、3年前にはNHKでドラマ化されました。

ここでいう貧困とは単に経済的なことではなく、地域社会での人付き合いの希薄化による社会関係の貧困なども含まれます。これらに対応するため、平成27年4月に「生活困窮者自立支援法」が施行されました。この法律の施行は、地域で活動する全国の担い手に歓迎されました。その大きな理由は、縦割りで制度の狭間として対応が難しかった事例に対しても、この法律を根拠に、できることが格段に増えたためです。

地域福祉法という法律がないので、それに代わる

ものとして、全国の社会福祉協議会、NPO、行政等から期待されています。

その気運の高まりの中、ここ数年、厚生労働省が斬新なビジョンを立て続けに打ち出しています。最新のものでは昨年7月に「我が事・丸ごと」として、地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域コミュニティを育成し、公的な福祉サービスと協働して助け合いながら暮らすことのできる「地域共生社会」を実現する必要があると宣言しました。



▲研究室での取材

■地域を横断的につなぐ

「さっぽろ市民福祉活動計画」は、この全国的な動向の影響を強く受けざるをえません。

これまでは法的根拠が乏しかったため明確に展開することを躊躇していた、制度の狭間への対応、そして縦割りによる対象者の違いを超えて関わり・支援する横断的な対応に、自信をもって取り組むことができます。

その際に、重要となるのが地域を基盤としたソーシャルワーカーなどの専門職の存在です。この専門職のことを、全国的にコミュニティソーシャルワーカー（CSW）と呼んでいます。

北海道では、正式に配置している市町村はまだありません。CSWは、制度の狭間への対応と縦割りによる対象者の違いを超えて横断的に対応することを使命とした、期待の専門職です。その配置に向けて、本計画では計画的に取り組んで行く予定です。

また、本計画では、過去の計画づくりで繰り返し

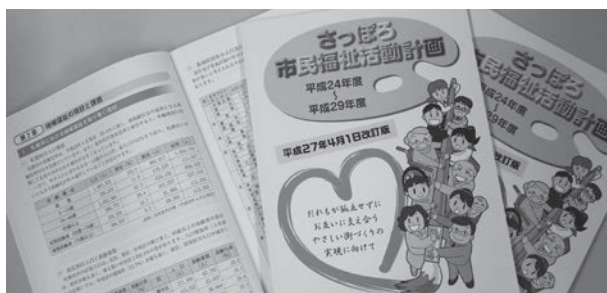
検討してきた目指すべき地域のあり方、例えば、現行計画の「だれもが孤立せずに、お互いに支え合うやさしい街づくりの実現に向けて」を大きく変えるのではなく、「やさしいまち」がどうすれば実現するのか、そのための仕掛けづくりを、区ごと、さらには中学校区・小学校区レベルで、具体的に現実的に取り組めるように、地域の支援計画づくりを地域住民の参画をいただいて行っていきます。その仕掛け・支援計画は、おのずと地域を横断的につなぐ取り組みになるはずです。

■新たな「さっぽろ市民福祉活動計画」が目指すこと

これまで地域社会では、多くの地域の担い手により、「福祉活動」が推し進められてきています。これから目指す仕掛け・支援計画は、この地域の担い手に更に負担を強いるものではなく、既存の地域の担い手と福祉等専門職や機関がつながるだけで出来る内容を出発点とします。

同じ取り組むなら負担感よりも、面白い・楽しい・またしたいと前向きになれるものとして、その地域に既にある素材（きっかけがなく出番がなかった人や物）を、あれやこれやと想像しながらつないで作っていくものとなります。そして、その盛り上がりが面白そうと集まる新たな担い手の参画を増やしていく計画となります。

みなさんとCSWとが協働しながら、地域を活性化させていき、いつかは自分が支援を受ける立場となって、この地域に住んでいてよかったと思える保険のような安心感がもてる計画づくりを進めていきます。



▲現在の「さっぽろ市民福祉活動計画」

さっぽろの福祉最前線

地域に根差したコミュニティカフェを目指して

富田 弘樹 氏 社会福祉法人札幌報恩会 多機能型事業所 幌西ほうおん 管理者

今年4月に、社会福祉法人札幌報恩会の新規事業所として、多機能型事業所「幌西ほうおん」（生活介護10名、就労継続支援B型10名、短期入所5名）を、札幌市中央区に開設しました。

この事業所の開設に併せて、「誰もが住み慣れたまちで生き生きと暮らす」ことをテーマに、障害福祉サービスのみならず子どもからお年寄りをはじめ多くの方に利用いただくために、地域の公益的な活動に対して積極的に取り組むことを目標にコミュニティカフェ事業を実施します。

敷地内には藻岩山を望む1,275㎡の「ほうおん園（公園）」があり、野外イベントや災害時の利用など、様々な活用方法が考えられます。また、建物3階には、40人から50人程度が利用可能な多目的活動室や会議室もあり、様々な用途に合わせた利用も可能です。



▲幌西ほうおん 外観

「出会い」と「つながり」

併設した「カフェすみれ」の目的は、就労継続支援B型事業所として障がいを持つ方々が地域の様々なふれあいの中から、自分の役割を通して自信と生きがいを持って暮らすことにあります。就労に必要な知識と能力の向上をはじめ、多くの方々とのコミュニケーションの場として、また、社会性を高める貴重な機会として活用できるものと期待しています。その中で、最も大切にしているキーワードは、「出会い」と「つながり」です。地域との連携や支え

合いなど、当たり前のように言われますが、それらを具体化するためには場所や機会が大変重要です。そこで、「カフェすみれ」を通して魅力あるコミュニティカフェの運営に参加いただけるように準備中です。



▲6月オープンした「カフェすみれ」

「憩いの場」から「地域の拠点」へ

「カフェすみれ」は、レンガ調の大きな4本の柱を特徴に、床・天井には木目をふんだんに生かしたモダンなつくりで、上品な落ち着きのある空間となりました。陽の光が降り注ぐ大きな窓にはシェードがかかり、その隙間からはオープンカフェのウッドテラスと広々とした芝生の公園が見渡せる抜群の眺めです。この恵まれた環境を通して、多くの方々の憩いの場となることを願っています。今後、お茶会や食事会をはじめミニライブやミニイベントの開催、そして、地域の交流拠点となる恒例行事など、地域の方々的心声を生かした遊び心を持った企画を取り入れたいと考えています。地域の中で一緒に作り出すこと、様々なイベントを通して元気を発信する場となることなど、従来のカフェとは一味違う企画に挑戦してみるのも面白いかもしれません。

地域の自主的な活動を一緒にいかがでしょうか。

幌西ほうおん(生活介護・就労継続支援B型・短期入所)
札幌市中央区南14条西16丁目2-10

TEL 520-1007

元気なうちから社会参加を！

奥田 龍人 氏 認定NPO法人シーズネット理事長

人生90年と言われて久しい。なにせセンテナリアン(100歳以上の方の呼称)が6万人を超えている時代なのだから。65歳で定年を迎えたあとのセカンドライフも長く、できれば人の世話になることなく元気で生き活きと過ごしたいものだ。

仲間・居場所・役割づくり

そのような思いから、シーズネットは、定年後の豊かなシニアライフをデザインしようと取り組んでいます。既にとても多くの会員が70代、80代でも生き活きと前向きに人生を歩んでいます。その秘訣は、私どものスローガンである「仲間づくり・居場所づくり・役割づくり」に凝縮されていると言えます。人間が生き活きと活動する動機である「会いたい人がいる」「行きたい場所がある」「やりたいことがある」という思いを「仲間づくり・居場所づくり・役割づくり」として具現化して、社会参加の機会をつくっているのです。

支え合って、自分らしく

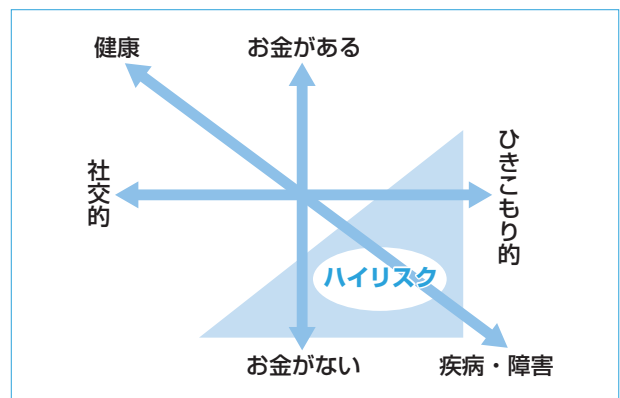
一方、少子高齢化が加速度的に進む中で、社会保障は厳しい運営を迫られていますし、家族のありようも変化してきています。これからのセカンドライフは、従来のように家族関係のある家庭をベースにしたステージでは難しく、また社会保障に頼るだけの人生設計も難しいでしょう。特に孤立化傾向のあるセカンドライフでは、高齢者同士の支え合いをベースに互助の仕組みをつくっていくことが求められます。ケアや見守りが必要になった場合でも、互助の力で自分らしいシニアライフを過ごしたいものです。

奥田理事長▶



セカンドライフを生き活きと

さて、シニアの社会参加を促進してきたシーズネットの活動から言えることは、「社会参加は元気なうちから」ということです。もともと社会との交流が乏しい方に、ケアや見守りが必要になってからケアマネジャーなどが「参加」を働きかけても、選択肢はどうしても限定的になってしまいます。一方、元気なうちから様々な活動をしていた方は、たとえ要介護状態になっても強く生きていける人が多いのは、社会参加の中で培った友人知人の支えがあるからです。地域の中には、元気なうちから社会参加できる仕組みがたくさんそろっています。そのような活動に参加することによって「自分の活動が人の役に立っている」と感じ、それは間違いなく明日への活力につながります。



図に、シニア世代が孤立化するリスクを示しました。お金と健康のありがたみは言うまでもありませんが、たとえお金がなくても疾病を抱えていても、社会参加を心がけて人生を生きることが生き活きとしたセカンドライフにつながります。私どもはもろ手を挙げて、あなたの社会参加を待っています！

認定特定非営利活動法人シーズネット
札幌市北区北10条西4丁目1 SCビル2階
電話 717-6001
FAX 717-6002

お知らせピックアップ

平成28年度事業報告(概要)

○在宅福祉サービス

独自サービスやボランティアなどを積極的に利用した社協らしいケアマネジメントに努めました。



▲ケアマネジャーの活動スタイル

○生活支援体制整備事業

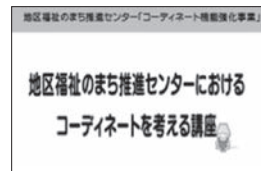
モデル3区(北区・厚別区・豊平区)にコーディネーターを配置し、介護予防、日常生活支援総合事業の全面施行への準備を整えました。



▲全体会議(協議体)

○コミュニティソーシャルワークの展開

コミュニティソーシャルワーカーとして職員を育成すると共に、地域の福祉力向上を図りました。



▲地域向け研修会を開催

○災害ボランティアセンター

いざというときに、円滑に開設・運営できるよう研修会の開催やマニュアルの整備などの準備を行いました。



防災無線を配置▲

○老人福祉センター

地域活動の拠点としてより多くの方に利用頂くために、新たな講座や相談会を実施しました。



▲ボランティア講座を開催

平成28年度 決算報告

【収入総額】 8,021,780,698円

【支出総額】 7,342,755,259円

■支出内訳

総額 7,342,755,259円
(内部取引消去額: 1,084,963,742円)

○社会福祉事業区分 4,055,764,234円

法人本部拠点区分 1,315,747,673円
社会福祉総合センター拠点区分 435,798,103円
ボランティア活動センター拠点区分 64,742,538円
訪問介護センター拠点区分 1,327,622,419円
指定管理施設(社福)拠点区分 911,853,501円

○収益事業区分 117,033,660円

指定管理施設(収益)拠点区分 117,033,660円

■財産目録

資本の部

○流動資産 1,002,140,572円

現金 326,073,369円
未収金 659,514,212円
その他流動資産 16,552,991円

○固定資産 3,637,038,475円

基本財産 3,000,000円
その他固定資産 3,634,038,475円

資産の部計 4,639,179,047円

負債の部

○流動負債の部 323,115,133円

未払金 253,921,270円
預り金 4,882,881円
その他流動負債 64,310,982円

○固定負債 2,877,609,167円

借入金 2,040,023,071円
引当金 837,586,096円

純資産の部計 1,438,454,747円

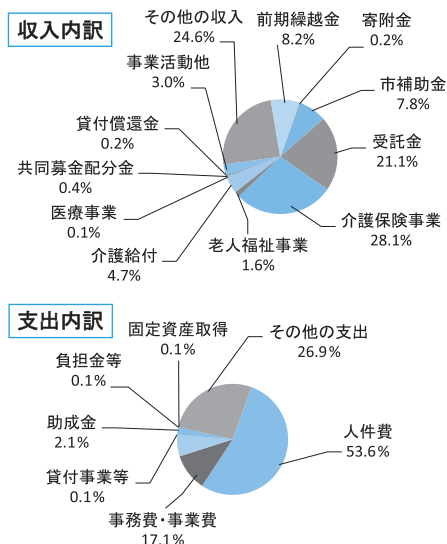
負債・純資産の部計 4,639,179,047円

○公益事業区分 4,254,921,107円

ほっと・サポート・研修拠点区分 109,058,932円
地域包括支援センター拠点区分 828,640,959円
介護保険関連センター拠点区分 1,295,176,882円
指定管理施設(公益)拠点区分 226,851,414円
社会福祉総合センター(公益)拠点区分 1,795,192,920円

平成29年度への繰越金

679,025,439円



各課からのお知らせ

第7回『はつらつ健康まつり』の開催

毎年皆様からご好評いただいております「はつらつ健康まつり」を今年も開催します。

骨密度や足指力測定などの健康測定コーナーや脳トレコーナー、その他、歯科医師・衛生士等による歯科相談コーナー、看護師による健康相談コーナー、管理栄養士による栄養相談コーナーなどを開設します。

また、今回は運動で体の健康を促すと同時に、脳の活動を活発にする機会を増やし、認知症の発症を遅延させることで知られる運動「コグニサイズ」も実施します。

【日 時】7月26日(水) 10時00分～15時00分
(受付9時30分～)

【場 所】札幌市社会福祉総合センター
4階大研修室(入場無料)



▲足指力測定

この記事へのお問い合わせは
施設福祉係へ

ふれあい・いきいきサロン事例集が完成

～サロンの一歩応援します！～

平成13年度から、身近な地域の交流の場づくりとして「ふれあい・いきいきサロン活動」を進めています。このたび、より多くの市民の皆様にはサロン活動を知っていただき、ご近所同士のつながりや支え合いが広がり、深まるよう事例集を発行いたしました。この冊子は、社会福祉協議会に登録している約700ヶ所あるサロンから、各区1ヶ所を取材し、サロン開設に至るまでの経緯や普段の取組み、またサロンを運営する方々が日々どのような思いで活動をされているかなどを紹介しています。これから

サロンを立ち上げたい方はもちろん、サロンに参加してみたい方、サロンって何？という方にも、ぜひお読みいただければと思います。サロンに関する様々な相談は、最寄りの区の社会福祉協議会まで。

この記事へのお問い合わせは
地域福祉係へ



『障がい者の就労の場における虐待防止を考えるセミナー』の開催

【登壇者】

北海道障がい者就労センター 職員

企業人事担当者

就業・生活支援センター 職員

働く障がい当事者の方(詳細調整中)

【参加対象】

- ・障がいのある方
- ・障がい者を雇用している、検討している方
- ・障がい者の支援している事業所の職員の方
- ・障がい者の虐待防止に関心のある方

【日 時】9月24日(日)

13時45分～17時15分

【場 所】札幌市社会福祉総合センター

4階大研修室



◀昨年開催したセミナー

この記事へのお問い合わせは
権利擁護係へ

『福まちウィーク』の開催

地域の住民同士の見守り・訪問や助け合いを進めるのが、「地区福祉のまち推進センター（略して：地区福まち）」です。市内89地区で、地区の特性に応じた様々な活動を展開しています。その「地区福まち」の活動をさらに広め、啓発するために、概ね9月の第3週（今年は9月9日（土）～15日（金））を「福まちウィーク」と位置づけ、下記の内容を実施いたします。

■「福まち発！ 地域福祉市民活動フォーラム」

- 日 時 9月13日（水）
13時00分～16時00分（受付12時00分～）
- 会 場 わくわくホリデーホール（札幌市民ホール）
- 内 容 ・基調講演「地域共生社会の実現に向けて
～公助・共助・自助のあり方を考える～」
講師 北翔大学 教授 林 恭裕 氏
・シンポジウム「今後の地区福まちの役割を
考える」
- 参加対象 関心のある市民の方

■福まち活動写真及び広報紙コンクール入賞作品展

地区福まちや町内会等の福祉活動の様子を捉えた「活動写真」と「広報紙」の入賞作品展

■小学生の描く福祉のまちづくりポスター展

小学生が「人にやさしい福祉のまちづくり」をイメージして描いたポスター展の入賞作品展

- 期 間 9月9日（土）～15日（金）
- 会 場 札幌地下街オーロラスクエア



この記事へのお問い合わせは
地域福祉係へ

『アトリウムイベント』の開催

札幌市社会福祉総合センターの1階スペースでは、ちょっとためになる講座やささまざまな催しを開催中です。申込不要で、気軽に参加できます。

■「知っ得く ひろば」

高齢者が安心して生活するために必要な知識を学びます。

- 日 時 毎月第1・第3火曜日
11時00分～（30分程度）

■「やさしさっぽろ手話講座」

あいさつや季節の表現など、楽しみながら簡単な手話を学びます。

- 日 時 毎月第2・第4火曜日
11時30分～（30分程度）

■「てづくりマーケット」

雑貨やお菓子の販売を行っています。

- 日 時 月・水・金曜日（祝日を除く）
11時00分～14時00分



▲講座



▲てづくりマーケット

この記事へのお問い合わせは
総務課へ

お知らせ よろず箱

ほっ・とプラザ協力員募集

ほっ・とプラザでは、日常生活に支障がある高齢者や障がいのある方、病弱な方、産前産後各8週以内の方への家事の手助けや外出時の付き添いなどを行う「有償のボランティア事業」を行っています。

会員登録制となっており、午前の登録説明会、午後の活動前研修を受講することで、経験のない方でも有償ボランティア活動に参加することができます。

- 日 時 7月28日(金)、9月14日(木) 10時00分～15時30分
 - 場 所 社会福祉総合センター
4階視聴覚兼会議室(7月)、3階第2会議室(9月)
 - 対 象 有償ボランティアに関心のある方
 - 年会費 900円(7月)、700円(9月)
- 問い合わせ・申込:ほっ・とプラザ

ボランティア愛ランド北海道2017 inさっぽろの開催

このイベントは、全道のボランティア実践者やボランティアに関心を寄せる人々が一堂に集い、ボランティア活動の課題等について研究・協議を行うとともに、仲間づくりやネットワークの強化、交流などを通してボランティア推進を図ることを目的に開催されています。道内各市の持ち回りで年1回の開催となりますが、今年は札幌市で下記の日程で開催となります。

- 日 程 8月5日(土)午後
 - 場 所 札幌コンベンションセンター
(白石区東札幌6条1丁目)
 - 対 象 ボランティア実践者、関心のある一般市民等
- 問い合わせ:道社協ボランティア・市民活動センター
電 話 271-0683

1日福祉セミナーの開催

現在の地域福祉のトレンドとそれに対する取り組みを学ぶことにより、これからのボランティア活動・市民活動への関わりや参画について学びます。講師の方には、活動の背景にある福祉課題や実践を通して得たこと等をお話しいただいており、既に開催されたテーマも大変好評をいただいています。

- ◇テーマ 障がい者差別解消法施行から1年
～「合理的配慮」とは?～
 - 日 時 8月31日(木) 13時30分～15時30分
 - 場 所 社会福祉総合センター4階研修室
 - 対 象 興味・関心のある方
 - 受講料 500円
- 問い合わせ・申込:ボランティア活動センター

福祉除雪協力員の募集

福祉除雪協力員は、自力で除雪が困難な高齢の方や障がいのある方などに、道路に面した出入り口部分(間口)と玄関先までの通路部分(敷地内)の雪を12月1日～3月25日までの期間、除雪します。シーズン終了後、1世帯21,000円を活動費としてお支払いします。

申込は随時受け付けています。

問い合わせ・申込:地域福祉係・各区社会福祉協議会



第22回日本在宅ケア学会学術集会 (市民公開講座:無料)の開催

学術集会長:工藤禎子(北海道医療大学)、
実行委員長:岡田直人(北星学園大学)

- 日 程 7月15日(土)～16日(日)
 - 会 場 北星学園大学 C館
(厚別区:アクセス地下鉄大谷地駅1番出口から徒歩5分)
- 参加申込は不要です。
- ◎市民公開講座1「最期まで安心して暮らすための在宅ケア:事前指示書」
15日(土) 15時30分～17時00分
スーディ 神崎和代(いわぎ明星大学)ほか
 - ◎市民公開講座2「いつかはくる“そのとき”のために:ケアの受け手と担い手との協働」
16日(日) 13時00分～14時30分
石垣靖子(北海道医療大学名誉教授)
- 問い合わせ:第22回日本在宅ケア学会学術集会事務局
北海道医療大学看護福祉学部(担当:竹生礼子)
E-mail:take-r@hoku-iryu-u.ac.jp

よろづ介護技術相談室

介護の仕方にお困りの方は、事前に電話でお申し込みください。ご来場いただき、直接お伝えします。

- 日 時 7月21日(金)、8月18日(金)
13時30分～16時30分の時間帯で、おひとり様15分程度
- 場 所 社会福祉総合センター4階 介護実習スペースほか
- 対 象 介護の方法に困っている方はどなたでも
- 受講料 無料

問い合わせ・申込:福祉人材研修係

まんがでわかる！社協のしごと

札幌のまちを見守る妖精

札幌市の高齢化率は25%を超え、地域の福祉課題やニーズはますます多様化しています。地域に暮らす一人ひとりがさりげなくお互いを気にかけて、支えあうことはとても大切です。

札幌市社協のマスコットキャラクター「まもりん」は見守り・訪問活動を広めるために誕生した見守りの妖精です。札幌市の花「すずらん」をイメージしたシルエットに、おなかにはハートを抱えて、いつもほほえみを絶やさず札幌のまちを見守っています。

日々の暮らしの中で誰もが一人ぼっちにならずに安心して生活できる、そんなやさしいまちをつつていくことが、札幌市社協とまもりんの使命です。

札幌市社協のことをたくさんの方に知ってもらうため、次号からは、様々な取組みをまもりんが四コマまんがで紹介します。

- まもりんプロフィール
- ・出身地：札幌市
- ・性別：妖精なので性別はありません
- ・誕生日：9月3日
- ・好きな食べ物：まもまもキャンディ

ツイッターアカウント：mamorin93



フォローしてまも!

はじめまして まもりんまも♪



ヘルパーのおしごと

同行援護サービスを利用して健康維持・回復へ

今回は障害者総合支援法の同行援護サービスを利用して買い物同行の支援を始めた利用者様を紹介します。

サービスを開始した当初は色々な理由で休むことがありましたが、閉じこもり予防と、意欲を持って過ごせるよう諦めずヘルパーが支援を継続していました。買い物の食品もヘルパーと相談しながら自分で選び、同行中のヘルパーとの会話も楽しみ、また、調理を支援するヘルパーとは、糖尿病の管理をする医師・栄養士の指示を受けて、バランスを考えながら一緒に

調理しました。数ヵ月後には血糖値が下がり、体調も良くなり、受診のたび医師にほめられるようになりました。介護と医療の連携で成果が形に表れると利用者様・ヘルパーともに嬉しいものです。

ヘルパーの関わりで利用者様の意欲を引き出し、在宅生活を継続し自立支援へとつなげていきます。

【同行援護サービス…視力障害を有する方に同行し、移動に必要な情報の提供や移動の援護、排泄、食事等の介護のほかご本人が外出する際に必要な援助を行いません。】

この記事へのお問い合わせは
支援事業係へ

札幌市社協応援企業のみなさん

～賛助会員企業として札幌市社協の活動を応援しています～

トーアレガートパレス

サービス付き高齢者向け住宅

- 増築します(平成29年10月完成予定:1LDK12戸)
 - 地下鉄南北線「北34条駅」から徒歩3分(交通至便)
 - 24時間職員常駐の安心・安全・快適な住まい
 - 月額利用料金 介護居室(1R:Aタイプ)188,300円(食費込み) 一般居室(1Rタイプ)138,300円～(1LDKタイプ)236,600円～
- ※一般居室残り少なくなっています

入居相談・昼食付見学会
随時開催中

※昼食ご希望の場合は事前にお申し込み願います。

場 所 トーアレガートパレス
(北区北31条西4丁目3番18号)
※南北線「北34条駅」5番出口後方1分
申込先 ☎0120-163-063

入居者
募集中



資料請求・お問い合わせ先: (株)トーアいこいの社 入居相談室(札幌市北区北31条西4丁目3番18号) ☎0120-163-063

高齢者の安心づくり、しあわせづくりにあなたが貢献。目指すはエキスパート相談員 シニアライフカウンセラー養成講座 受講者募集!

後援: 北海道新聞社、札幌商工会議所、札幌弁護士会

シニアライフカウンセラー認定資格で得られる知識

高齢者が抱える様々な困りごとや悩みごとを総合的にサポートし、解決へ導いていくのがシニアライフカウンセラーの役割です。

高齢者住宅/介護保険制度/健康・医療見守り・後見制度/相続・遺言・生活支援
財産管理・税金/葬儀・墓/エンディングノート
コミュニケーション能力/お片付け・生前整理

この講座に関するお問い合わせ、お申し込みは

一般社団法人 シニアライフサポート協会

NPO法人 札幌高齢者住まいのサポートセンター

〒060-0052 札幌市中央区南2条東1丁目1-11第3泊ビル1F
シニアライフ相談サロン 代表理事 小番 一弘

詳細資料無料送付中!

詳細はホームページ
でご確認ください

シニアライフカウンセラー

検索

初級講座

●受講料/19,800円 2日分です)

Aコース
7月22日(土)・9月10日(日)・10月7日(土)
Bコース
7月23日(日)・8月19日(土)・10月8日(日)
A・Bそれぞれ1日ずつお選びください
Aコース・Bコースどちらを先に受講いただいても構いません。

会場・時間 道新プラザDO-BOX 札幌市中央区大通西3丁目6 北海道新聞社北一条館1階
時間: 9:55~16:30 (A・B両コースとも1講座50分・5講座行います)

●受講料は税込、テキスト2冊分、認定料を含みます。お申込後にお支払い方法等をご案内いたします。初級認定者は中級・上級講座も受講可能です。受講者には生運あんしんノートプレゼント!

認定者数 のべ2,700名以上のカウンセラーが誕生(平成29年5月現在)

TEL 011-200-0947 FAX 011-351-2611

季節の行事・多彩なレクリエーション・天然温泉のある暮らし!

サービス付き高齢者向け住宅



いこの泉
介護付有料老人ホーム併設

入居相談見学会
随時受付中

※事前に見学希望日のご連絡をお願いします。
※見学時の送迎ご相談承ります。



お問い合わせ・資料請求は
☎011-897-6610
〒004-0003 札幌市厚別区厚別東3条6丁目5-35

札幌中央会計

公認会計士 川崎毅一郎 税理士 梅津 太
税理士 水野 克也 税理士 松尾もえ子
公認会計士 桶谷 洋幸 税理士 佐々木一男
税理士 竹谷 展由 税理士 片岡 雅彦

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目2番地2
札幌センタービル24階
TEL(011)231-6118 / FAX(011)231-6540

あなたも癒しのスキルを身につけませんか? 養成講座受講生募集!

アンコンシャスカラーセラピー養成講座

「色でわかる心とからだ」

あなたの心とからだの状態がわかる診断法です!中級まで取得後は、セラピストとして活動できます。

- ・初級コース 6 時間
- ・中級コース 18 時間

アンコンシャスカラー-色彩生理心理学研究会北海道支部

詳細はこちらまで 各講座担当 公認講師 高橋 晴美
TEL-FAX 011(813)5106 携帯電話 090(1383)1150

フットケアセラピスト養成講座

将来のお仕事に、自分自身のスキルアップに、ボランティアに、ご家族の癒しにと様々な場面でご活用いただけるスキルです。

- ・4日間コース

NPO法人日本リラクゼーションフットケア協会公認北海道

応援企業を募集しています!



地域福祉のサポーターとして、お互いに支えあう街づくりの実現のため、札幌市社協の応援企業になりませんか

企業・団体(1口)10,000円

【お問い合わせ】 総務課



ご寄附ありがとうございました

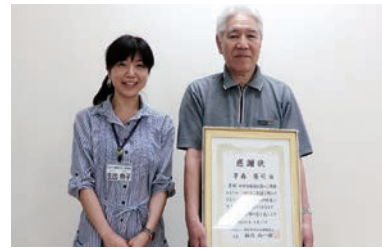
4月 4日 松本良子 歌謡教室
 4月 6日 札幌菱友会・三菱業務懇談会 様
 4月17日 フラワーショップ花れん 様
 4月17日 茅森 憲司 様
 5月25日 佐藤水産株式会社 様



札幌菱友会・三菱業務懇談会 様



佐藤水産株式会社 様



茅森 憲司 様

情報センター発

イベントのご案内 親子のための絵本の よみきかせ会

【日 時】 8月23日(水) 10時30分～11時30分
 【会 場】 札幌市社会福祉総合センター3階 第三会議室
 【参加費】 無料
 【定 員】 20組(先着順)
 ※8月1日(火)申込受付開始
 【予定内容】 「NPO法人子育て応援かざぐるま」
 が、絵本の読み聞かせを中心に、わら
 べうた遊び、絵本選びの参考になる
 お話などをしてくれます。



【お申込み・お問い合わせ】
 情報センター資料室
 電話 614-2001 FAX 615-2666

福祉関係者におすすめの一本 DVD「わっかカフェへ ようこそ」

小さなカフェを舞台にした3本のミニドラマ
 と、要所所で登場する専
 門家の解説を見ながら、そ
 れぞれのテーマである「イン
 ターネットによる人権侵
 害」「高齢者の人権」「外国人
 の人権」について学ぶこと
 ができるDVD。ドラマと
 解説を合わせた収録時間
 は、それぞれ10分程度です。



研修会や勉強会などに、是非ご活用ください。

情報センターの利用案内・蔵書検索はこちらから
ご覧になれます。

URL <http://www.lib-finder.net/sapporo-shakyo/servlet/Index>



社会福祉法人 札幌市社会福祉協議会 問い合わせ先一覧

〒060-0042
 札幌市中央区大通西19丁目1-1
 札幌市社会福祉総合センター3階
 電話 614-3345 (代表)
 FAX 614-1109

総務部

総務課・展示ホール…………… 614-3345
 経営財務課…………… 614-3343
 情報センター資料室…………… 614-2001
 社会福祉総合センター…………… 614-2948
 地域福祉部
 地域福祉係…………… 614-3344
 生活福祉係…………… 614-0169
 札幌市共同募金委員会…………… 614-3532

ボランティア活動センター… 623-4000
 福祉人材研修係…………… 623-0010
 ほっ・とプラザ…………… 623-4010
 さっぽろ子育てサポートセンター… 623-2415
 高齢者・障がい者生活あんしん支援センター (権利擁護係) …… 632-7355

介護事業部

訪問介護係・支援事業係…………… 623-0001

施設福祉部

施設福祉係…………… 614-1002
 養護老人ホーム長生園…………… 614-1171
 札幌市保養センター駒岡…………… 583-8553
 地域包括部
 地域包括係…………… 623-4021
 調査係…………… 623-4022

中央区社会福祉協議会…………… 281-6113
 北区社会福祉協議会…………… 757-2482
 東区社会福祉協議会…………… 741-6440

白石区社会福祉協議会…………… 861-3700
 厚別区社会福祉協議会…………… 895-2483
 豊平区社会福祉協議会…………… 815-2940

清田区社会福祉協議会…………… 889-2491
 南区社会福祉協議会…………… 582-2415
 西区社会福祉協議会…………… 641-6996

手稲区社会福祉協議会…………… 681-2644



赤い羽根共同募金の助成金を
受けて発行しています。

ホームページでもご覧になれます。
<http://www.sapporo-shakyo.or.jp/>



電子書籍ポータルサイト
 「hokkaido ebooks」でもご覧になれます。
<https://www.hokkaido-ebooks.jp/>